

浮魚情報（第9報）

令和3年9月13日
 宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
 Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

シラス分布調査結果

○調査方法

- ・9月10日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

- ・St1及びSt2周辺の5～10mの水深帯でシラスと思われる濃い反応が見られ、名取沖の5m前後の水深帯では、断続的にシラスと思われる反応が見られました（図1、図2）。

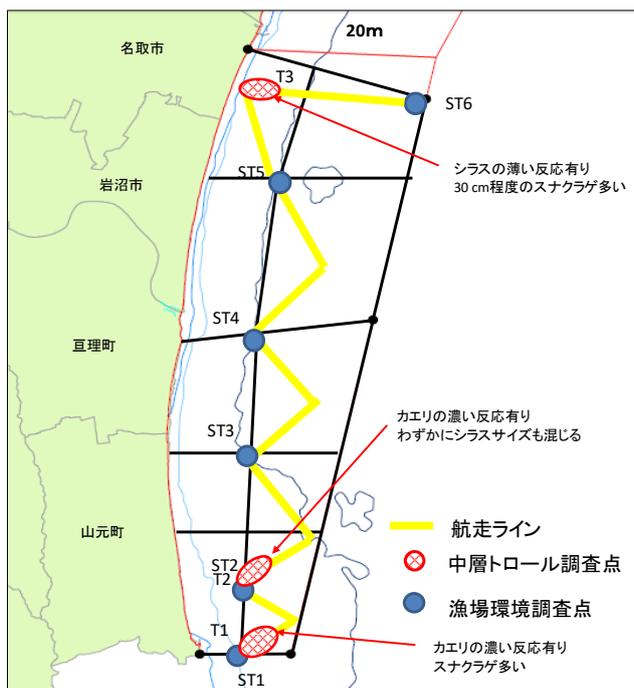
○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網（10分曳き）を行った結果、T1では19,852尾、T2では1,521尾、T3では921尾採取されました。漁獲物の体長はT1で27～50mm（平均36mm）、T2で17～50mm（平均29mm）、T3で20～34mm（平均26mm）でした（図3）。また、T1ではほとんどが銀色に色付き始めたカエリ（幼魚）でありましたが、T2ではカエリとシラス（仔魚）の混ざり、T3ではシラス（仔魚）が多くを占めました（図3、図4）。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は、22.2～23.7℃、底層付近は、19.9～22.4℃となっていました（表1）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.4を除いて水産用水基準（6mg/L）を下回り、広範囲で貧酸素状態となっていました。
- ・T1及びT3付近では、30cm程度のスナクラゲが多数入網しました。

表1 調査漁場の環境調査結果



St	時間	測定層 水深(m)	水温 (°C)	塩分	pH	DO
St1	8:33	0	22.2	27.5	8.3	8.2
		5	22.5	31.6	8.3	7.7
		10	22.4	32.7	8.2	5.7
		15	22.4	32.8	8.2	5.6
		B-1	22.4	32.8	8.2	5.6
St2	9:16	0	22.2	28.1	8.3	7.8
		5	22.7	32.6	8.3	7.2
		10	21.9	33.1	8.3	7.1
		15	21.1	33.4	8.1	4.8
		B-1	21.1	33.5	8.1	4.5
St3	10:05	0	23.7	20.5	8.3	7.7
		5	22.2	32.6	8.3	7.5
		10	21.6	33.2	8.2	7.3
		15	21.0	33.7	8.2	7.3
		B-1	19.9	33.9	8.1	5.0
St4	10:36	0	22.9	29.8	8.3	7.6
		5	22.6	32.5	8.3	7.3
		10	22.1	32.8	8.3	7.3
		15	21.6	33.3	8.2	7.2
		20	21.2	33.5	8.2	7.2
St5	11:11	0	23.1	31.6	8.3	7.4
		5	22.8	32.5	8.3	7.3
		10	22.6	32.6	8.3	7.2
		15	22.0	32.9	8.3	7.2
		20	20.0	33.8	8.0	3.5
St6	12:03	0	22.9	32.5	8.3	7.1
		5	22.7	32.5	8.3	7.1
		10	22.6	32.5	8.3	7.1
		15	22.7	32.9	8.3	7.1
		20	21.8	33.1	8.2	7.2
B-1	25	20.0	33.9	8.0	4.1	
	20.0	33.9	8.0	4.3		

図1 航走ラインと中層トロール調査点

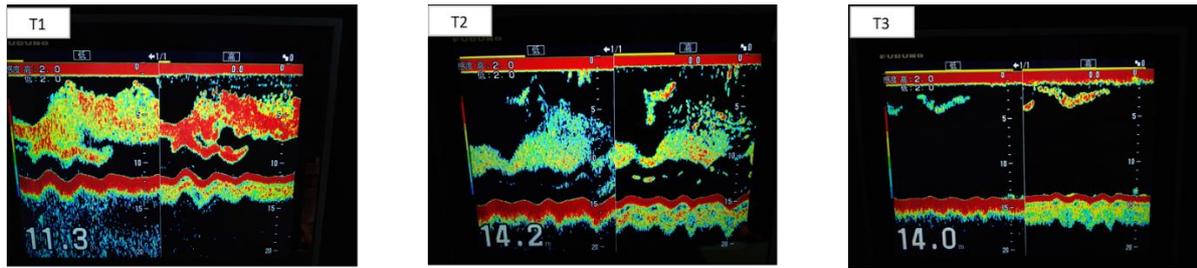


図2 各調査点でのシラスと思われる魚探反応



図3 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚

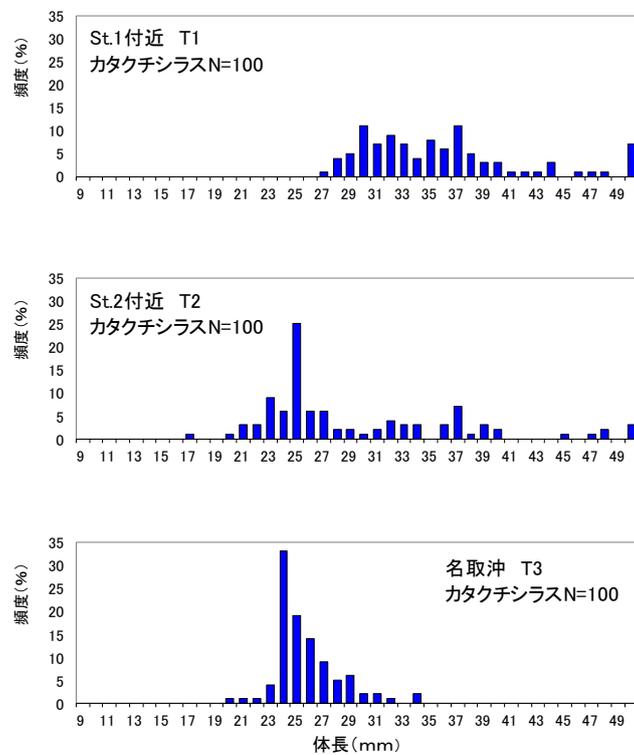


図4 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚の体長組成